

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2006.02.1

参加者 高松（邑久小）松本（国府小）福井（中央小）

【共振ボール】 福井

まるで仏具のようですが、ケニスのカタログに載っているれっきとした実験道具です。金属の鉢を手の平にのせて付属の棒で縁をゆっくりこすると大きな「うなり音」が発生します。共振現象を手の平の振動で感じることができます。



【自作、大型セパタクロール】 松本

セパタクロールのボールと同じやり方でウレタンマットを用いて大型のボールを自作しました。重さと大きさの関係で、手で投げてもすぐ失速して落ちてしまいますが、逆にそのゆったりした動きがサッカーのボールリフティングの練習にピッタリです。汗をかくくらい運動量があるわりに室内でやっても物が壊れません。雨の日にもいいかも。



【むすんでポイ！】 福井

小型の容器に10mの筒状のビニール袋が入っていて、必要な時はウエットティッシュのように引っ張り出して片方を結んで使います。トイザラスのベビー用品売り場に置いていたので、きっと車の中でのおしめ交換に使うのでしょうか。ブロアーを使って膨らませると、長い風船が手軽に作れ、4年生の「もののかさと力」の導入に使えます。



【上毛カルタから思うこと】 福井

群馬県で授業をしてきました。その際に買ってきたのが上毛カルタ。これは昭和22年に作られたお国自慢のカルタで、群馬県で各地区の育成会で冬になると練習を重ね、小学校区の大会、郡市大会、県大会で競うのだそうです。だから、群馬県で小学校時代を過ごした人なら「鶴舞う形の」と言えばすぐに「群馬県！」と帰ってくるそうです。下手に学校で社会科を教えるよりも効果絶大ですね。この方法を理科の暗記ものに応用できないのでしょうか？「地層逆転大賀デッケン」



【授業に役立つリッチコンテンツ集】 松本

TOSSランド (<http://www.tos-land.net/>) のリッチコンテンツ集は宝箱です。授業ですぐに使えるソフトや教室のパソコンに子どもに触らせると喜びそうな学習ゲームがいっぱいあります。下の時計は岩本友子さん作の「いま何時？時計」で、時計を自由に動かして何時か尋ねる教材です。「？」の部分をクリックすると答えが見えます。



【自作教材ソフト】 高松

TOSSのソフトに勝るとも劣らないのが高松先生作の自作教材。上は漢字の成り立ちをフラッシュを使ってアニメーションにしたもの。下はなんとパワーポイントで分数のソフトです。完成度が高い！！

